

令和5年度 市長のタウンミーティング（会場：射水市役所）

日時 7月31日(月) 午後7時30分～9時

会場：QQP

出席者 夏野市長、磯部副市長、金谷教育長、小塚企画管理部長、  
北財務管理部長、長谷川市民生活部長、小見福祉保健部長、  
塩谷産業経済部長、小川都市整備部長、南上下水道部長、  
久々江教育委員会事務局長、宮本市民病院事務局長、竹内消防長、  
渡邊会計管理者、片口監査委員事務局長、杉本企画管理部次長、  
網政策推進課長、森田未来創造課長（司会）

参加者 77名

○ 質疑応答

発言者1【中太閤山 男性】

○ 非常にわかりやすい説明であった。説明の終わりに、『それぞれに思い描く「射水市」の実現のために何をしますか』と問いかけをされたが、まさにその通りだと思った。そのうえで質問させていただきたい。

基本方針は素晴らしい内容となっているが、具体策については、誰がやるのかよくわからなかった。官民共同なのか、学術機関も入ってくるのかわからなかったため、明確になればいいと感じた。

○ また、第2次総合計画と新しい第3次総合計画との違いとして、第3次における新しい施策と第2次から継続している施策がそれぞれわかり、さらに進めるうえでのマイルストーン（実現するための重要な中間目標）がわかれば非常にわかりやすいと感じた。

自分は地域振興会運営に携わっている立場であり、「自分たちにもこの時期にこういったことを聞かれる」と分かれば、必要な人材を探し、地域振興会活動に参加してもらうなどの行動をとることとなり、協力すべきところは協力していきたいと考えている。

また、太閤山リノベーションは都市計画課の頑張りにより、関係者を集め、1、2年のスケジュールも明確になってきている。

たくさんの施策を、誰がやるのか地域を巻き込んでいただけるのか、直近2、3年のスケジュールが見えれば、みんなで協力しやすくなるのではと感じた。

○ 最後に一つ。これを実現すると「日本一」、「世界一」という、ワクワクムズムズすることがあれば教えていただきたい。

## 回答【市長】

- 誰がやるのかということ、施策によって異なるものであり、行政の業務効率化や民間の提案や、地域の皆さんや団体との連携、民間企業の活力など、どうしてもそれぞれの事業ごとに効果的な経済体制は違ってくる。違いをはっきりさせるよりは、より高い効果が得られる体制最終的には市民の皆さんの生活に直結するため、市民の皆さんにはそれぞれの立場でご理解とご協力をいただきたい。そういった意味での情報共有はしっかりとしていきたい。
- 新しい取組や継続している取組など具体の取組については、総合計画の実施計画に盛り込んでいる。それらは、市の地方創生や福祉の取組、公共交通の取組や都市計画など、それぞれの計画に入っている。その中で、具体的な計画期間や細かなパートナーやスケジュールなどは、それぞれの個別の計画においてお示ししている。今回の総合計画は、それらを取りまとめた形となっており、新しく取り入れたものについては、今後の見直し、あるいは新しく策定していく中で、具体的なスケジュールなどを提示していきたい。
- これをやったら「日本一」というものについて、総合計画に関係人口の項目を掲げる市はかなり珍しい。「132万人」を達成できたら、他にはないことではないかと感じている。

## 発言者2【南太閤山 男性】

- 空き家の問題について。町内の空き家問題で、12、13年前から、環境課、建築住宅課に毎年相談しているが、市職員には、現実問題としてとても困っているのもっと市民の立場になって話を聞き、適切なアドバイスをお願いしたい。

空き家の庭木が管理されておらず、毎年害虫が発生する。また、雑草が2メートルほどに伸びている。近隣住民は、外に洗濯物も干せない。建築住宅課に梅雨前に木を切るなどお願いしたが対応されておらず、問い合わせたところ、「所有者が県外におり返答がない」ということだった。町内で対応するしかないのか。十数年もこの状態である。

私が言いたいのは、市の対応がもっと市民の立場になってほしいということ。決まりきった対応だから、十数年前から進展していない。市職員は知識があるのだから、的確なアドバイスをしてほしい。

私有地には勝手に入ったらいけないということは承知しており、自腹を切って弁護士に相談したら、内容証明で写真と対応依頼内容を所有者に送付し、所定の期間が経っても連絡がなければ、立ち入ってもいいと言われた。そのことを環境課に伝えたところ、市の職員もその知識はあった。そうであれば、最初に教えてくれればよかったのと思った。

市民の立場に寄り添ってアドバイスや対応を迅速にさせていただきたい。また町内会で処理するということになれば支援をお願いしたい。

#### 回答【市長】

- 空き家については正直難しいところがあり、全国で悩ましい声が出ている。個人の資産であるため、第一は所有者が管理すべきである。関係課は、相談があれば所有者に通知して、長年、その管理をしない場合には法的措置を執ることを考えていたと思う。お話をお聞きしたので、現状を改めて確認させていただき、必要な措置について庁内で協議していきたい。

空き家の対策については、非常に難しい点があることをご理解いただきたい。空き家全般の話であるが、管理不全の空き家であるといろいろ課題が発生しやすく、市では勧告して是正されない場合は、解体して費用請求できるまでの措置を執る体制は整っているが、これには非常に危険な状態であることなどの条件がある。

空き家の課題については、国に対して実態も伝えながら、法的な見直しを含めて進めていきたい。

#### 発言者3【戸破 男性】

- 市民は、多くの人、県外や他の市町村と関わっているが、生活の基本は町内、自治会、振興会であると思う。最近では定年延長もあり、70歳まで仕事をしないといけない状況であるため、以前のように退職して地域活動に参加していただける方が少なく、苦慮している。担い手不足に陥らないため、なんとかして人材発掘をしていかななくてはならないと頑張っているが、地域だけでなく、市のほうでも人材教育などをお願いしたい。もちろん市の職員にも積極的に溶け込んでもらい、そういった役割を担っていただきたい。
- 福祉を避けてまちづくりはできないと思っている。令和2年度に、「いみず地域共生プラン」を策定したと思うが、この総合計画ではどのような位置付けになっているのかお聞きしたい。
- 「小杉駅周辺地区まちづくり基本構想」が令和2年度に策定されている。基本構想であり、今後10年、20年、その先を考えたものだとして理解しているが、現在の具体的な取組み内容が見えてこないため、どうなっているか教えていただきたい。

#### 回答【市長】

- 担い手不足については、定年後も働き続ける流れがあり、人材の取り合いもあって難しいが、まちづくりに関心や意欲がある方をもれなく巻き込めるよ

うに、引き続きまちづくりセミナーなどを開催していきたい。それでも難しいのが現状であり、多様な主体、たとえばNPOなどの団体とも連携して、活動のマンパワーを増やしていきたいと考えている。

地域振興会とNPOと接点を作る取組もしており、実績はまだないが、それぞれの良さを生かしながら担い手の確保にしっかり取り組んでいきたい。

- 福祉計画である「いみず地域共生プラン」の位置付けについて、総合計画が最上位計画であるが、そのもとに共生プランがあることになる。共生プランが令和2年度に策定していることもあり、今回の総合計画には共生プランの趣旨を踏まえてできている。また、総合計画で取り込んだSDGsや多様性などの考え方などの新しい視点については、共生プランの見直すタイミングと合わせて、反映することになると思う。

- 小杉駅周辺地区まちづくり基本構想の進捗状況については、構想の実現に向けて取り組んでいる現状である。

具体的に見えてこないのは、とても大きなプロジェクトであり財源の確保が必要という面がある。国のまちづくり施策に関する計画を立て、交付金を受ける仕掛けをしているのが現状で、具体的な成果はお示しできていないが、地ならしをしているところである。

構想を立てて終わりというわけではなく、見えてくる形に向かって頑張っている状況であることをご理解願いたい。

### 発言者3【三ヶ 男性】

- 老人クラブの関係者として質問させていただく。

7月12日、13日の大雨被害に関してお聞きしたい。下条川は、過去には氾濫によって水害被害が発生したが、川幅を広げるなどの改修工事が行われ、川下には排水の機械も入ったため、約60年近く水害がなく安心して過ごしていた。先日は、線状降水帯の発生もあったが、下条川がどのくらいの降水量に対応できるのかわからず、洪水の発生が心配である。排水ポンプ能力を上げると下条川は安心なのではないか。どれだけの雨量に対応できるのか教えていただきたい。

- 水害時に、緊急ということで避難場所の開設をされたが、夜中に避難してくださいと言われても高齢者には非常に難しい。早めに指示を出してほしい。

### 回答【市長】

- 今回の線状降水帯の発生は、初めてのことであり、気象庁も発生予測が難しかったということで、結果、夜中の大雨となり準備も予測もできなかった。どのくらいの雨量で水がつくのかというご質問であるが、一概には言えない。

高潮と大雨が重なれば、川の流れが悪くなることも考えられるなど、様々な条件によって異なるものと考えている。

たとえば、排水ポンプを入れて緩和する方法もあると思うが、相当の能力のものが必要になるため、現状はサテライト的に設置することは難しいと思う。早めに避難をお願いする形にしないといけないと私も考えている。

- 夜中の避難指示についても、雨と水位の急激な上昇は想定できなかったものだった。气象台からは、危険性の程度を表す情報提供があるため、危険度が高い時は、事前に避難できますというお知らせを早い段階から行うなど、対策をしていきたい。

発言者3【三ヶ 男性】

- (続き) もう一点、質問させていただく。射水市の現在の雨量の速報を見たい時、何を見ればわかるのか教えていただきたい。

回答者【上下水道部 南部長】

- 雨量の情報は、市ホームページの気象情報のコーナーで、1時間単位または10分単位で見られる。市内数か所で雨量測定した内容を情報発信しているので、是非ご覧いただきたい。